

伊奈さいたま会パソコンクラブ

冬の朝

冬の凜とした空気

Y.Yama

2020年2月10日

冬の凜とした空気

雪の朝



レッスン内容

「雪の朝」を構成するイラストパーツを描いた後、それらを描画キャンバス内でレイアウトすることで、四季のイラスト「雪の朝」が完成します。

完成したイラスト「雪の朝」



イラストパーツ

雪が積もった木



雪



降り積もった雪



レッスンの前に

■前提となる知識

- Word の基本操作およびフリーハンドを含む図形描画の操作ができることを前提としています。そのため図形描画の手順については使用する図形と描画結果のみを記述しています。
- 描画する図形のサイズは参考値です。おおよそ同じサイズで描画してもかまいません。

レッスンの前に イラスト用パーツの確認

編集ウィンドウの1ページ目に図形機能を使用して「雪の朝」を構成する次の2つのパーツを描きます。より写実的な表現が必要なパーツには図形機能の「フリーハンド」を使用します。パーツを描くための図形のサイズは参考値です。また、各パーツの完成時のサイズは122ページに記述しています。

注意

Word の動作環境の違いにより図形のサイズに整数を入力して確定すると、整数は表示されずに右図のように近似値が表示されることがあります。

サイズを入力	確定後の表示

パーツの完成図	使用する図形	図形のサイズ	塗りつぶしの色	枠線の色と太さ
<p>木の枝</p>	<p>雲</p>	図の高さ 6mm 図の幅 16mm	塗りつぶしの色 グラデーション <分岐点 1/2> 白、背景1 <分岐点 2/2> 緑	線なし
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">「木の枝」</div>			<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">「木の枝」を6個組み合わせて「雪が積もった木の枝」を描きます。</div>	
			<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">「雪が積もった木の枝」を6個組み合わせて「雪が積もった木」を描きます。</div>	
	<p>フリーハンド</p>	図の高さ 50~55mm 図の幅 150~160mm	塗りつぶしの色 グラデーション シルバー	線なし
<p>雪</p>	<p>円/楕円</p>	図の高さ 6mm 図の幅 6mm	塗りつぶしの色 白、背景1 図形の効果 ぼかし：5ポイント	線なし
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">「雪」は描画キャンバスに直接描画します。</div>				

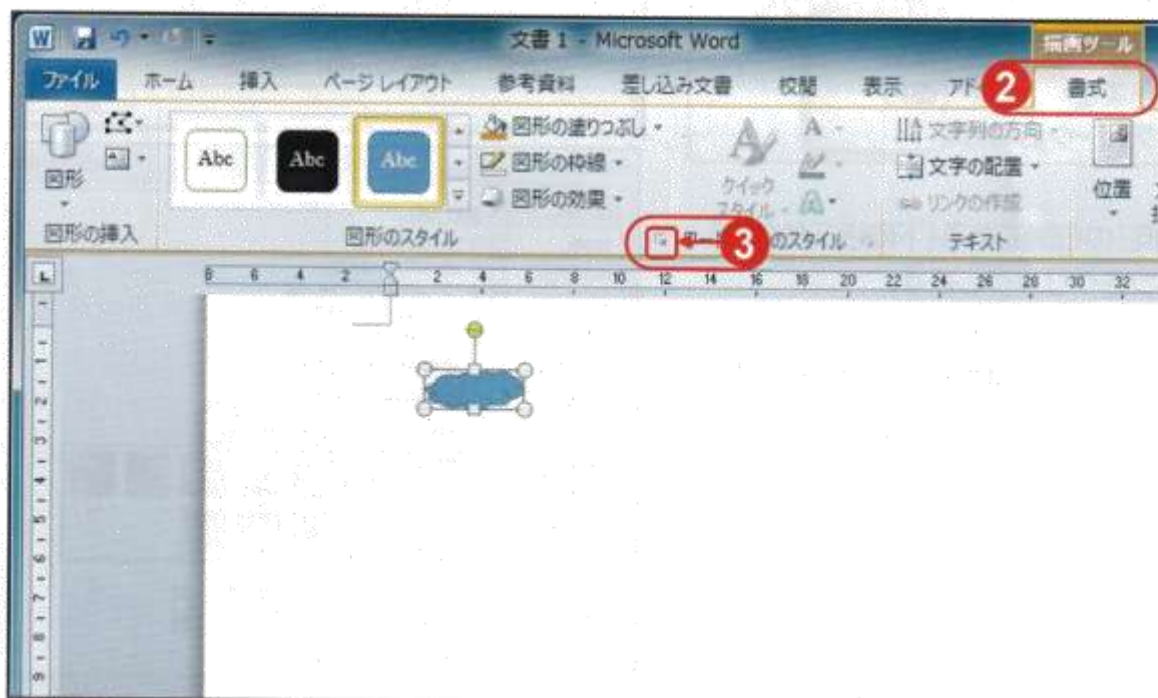
Step 1 雪が積もった木

操作開始

- 1 編集ウィンドウの1ページ目の上部に[雲]を使用して次の設定の「木の枝」を描きます。
[サイズ] - [図形の高さ]: 6mm [図形の幅]: 16mm
図形の塗りつぶしの色や枠線の太さと色は既定のままでもかまいません。



- 2 「木の枝」が選択されている状態で[描画ツール]の[書式]タブをクリックします。
- 3 [図形のスタイル]グループの右端にある[ダイアログボックス起動ツール]をクリックします。



〔図形の書式設定〕ダイアログボックスが表示されます。(Word 2013 の場合は〔図の書式設定〕作業ウィンドウが表示されます。詳しくは補足資料を参照してください。)

4 [図形の書式設定] ダイアログボックスの左端のメニューから [塗りつぶし] をクリックします。

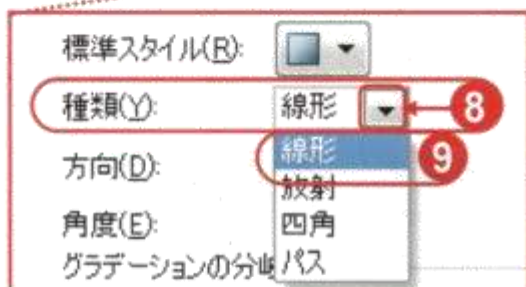
5 [塗りつぶし] セクションの [塗りつぶし (グラデーション)] をクリックします。

6 [標準スタイル] の右端にある [下向き三角(▼)] ボタンをクリックします。

7 表示されるグラデーションのメニューから [こけ] をクリックします。

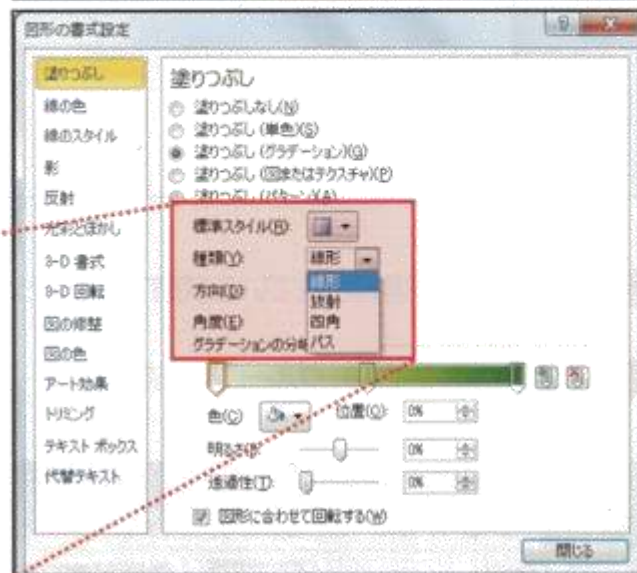
8 [種類] の右端にある [下向き三角(▼)] ボタンをクリックします。

9 示されるメニューから [線形] をクリックします。



10 [方向] の右端にある [下向き三角(▼)] ボタンをクリックします。

11 表示されるメニューから [下方向] をクリックします。



12 [グラデーションの分岐点] の [分岐点 2/3] をクリックします。

13 [グラデーションの分岐点を削除します] をクリックします。

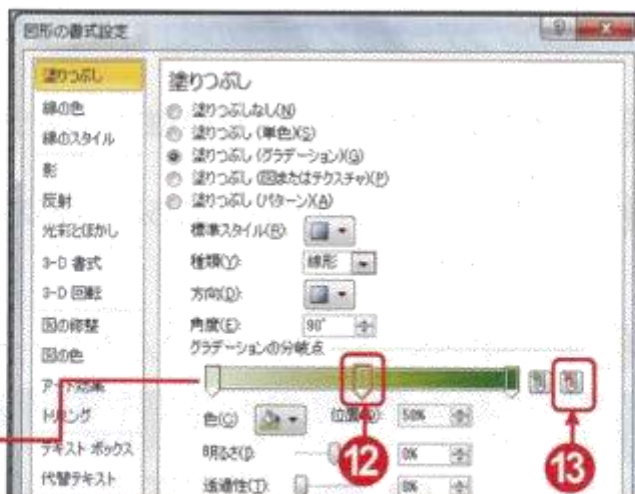
[分岐点 2/3] が削除され、グラデーションの分岐点が2つになります。



14 [グラデーションの分岐点] の [分岐点 1/2] をクリックします。

15 [色] の右端にある [下向き三角(▼)] ボタンをクリックします。

16 表示されるカラーパレットから [白、背景 1] をクリックします。



17 [グラデーションの分岐点] の [分岐点 2/2] をクリックします。

18 [色] の右端にある [下向き三角(▼)] ボタンをクリックします。

19 表示されるカラーパレットから [緑] をクリックします。

20 [閉じる] ボタンをクリックします。



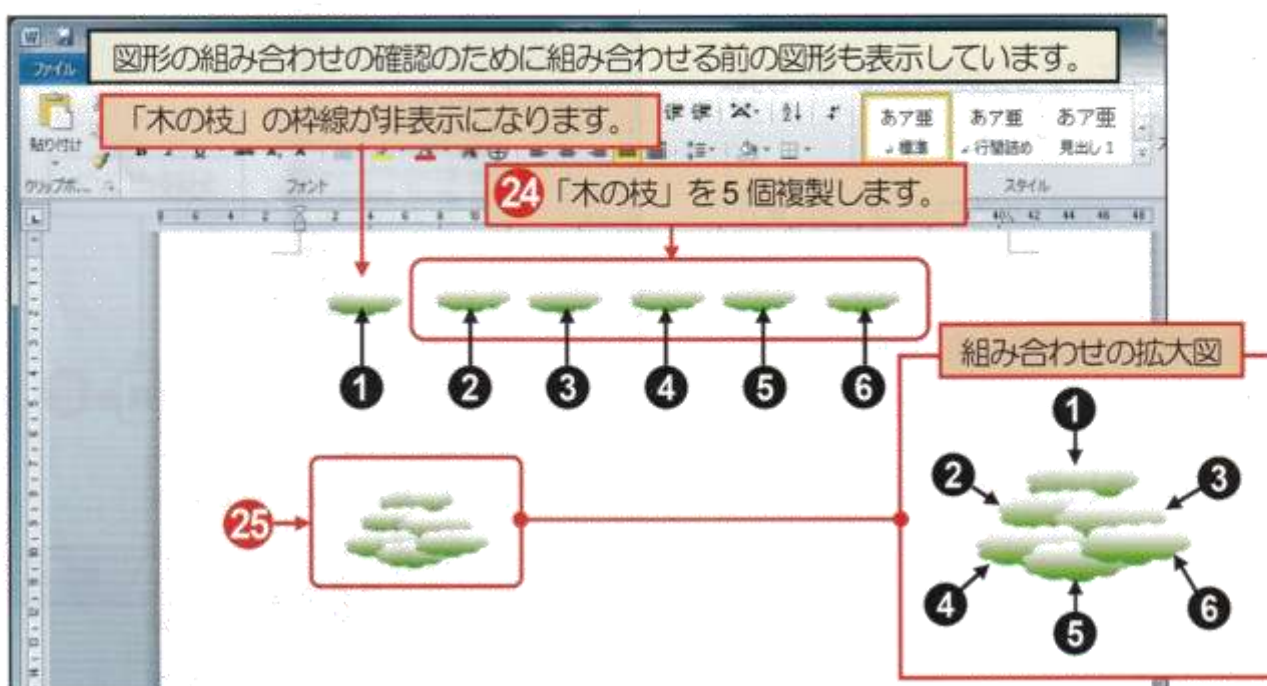
このグラデーションで「木の枝」に雪が積もっている様子を表現しています。

- 21 「木の枝」が選択されている状態で [描画ツール] の [書式] タブをクリックします。
- 22 [図形のスタイル] グループにある [図形の枠線] の右端にある [下向き三角 (▼)] ボタンをクリックします。
- 23 表示されるメニューから [線なし] をクリックします。

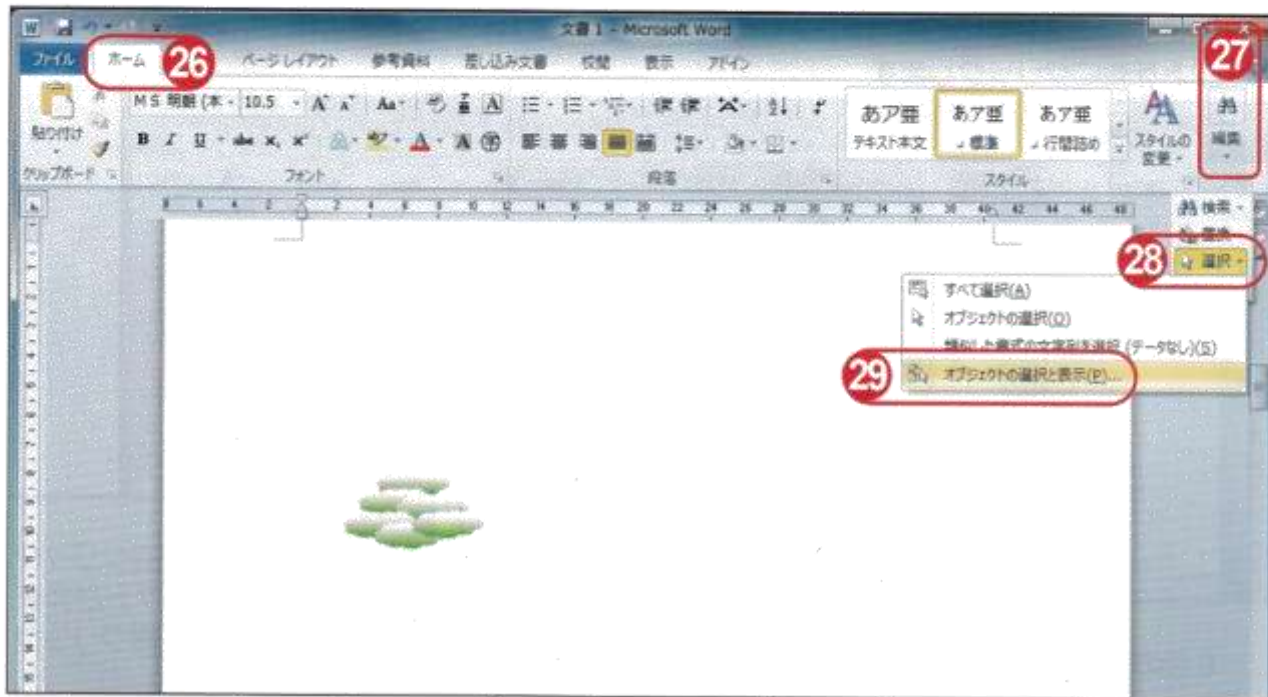


「木の枝」の枠線が非表示になります。

- 24 「木の枝」 ① を ② から ⑥ の順に複製します。
- 25 ① から ⑥ までの「木の枝」を次の図のように組み合わせます。
(拡大図を参考に、おおよそ同じような形状に組み合わせます。)



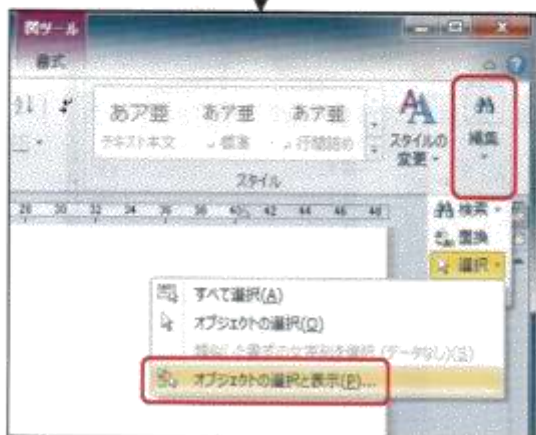
- 26 [ホーム] タブをクリックします。
- 27 [編集] グループにある [編集] をクリックします。
- 28 表示されるメニューから [選択] をクリックします。
- 29 表示されるメニューから [オブジェクトの選択と表示] をクリックします。



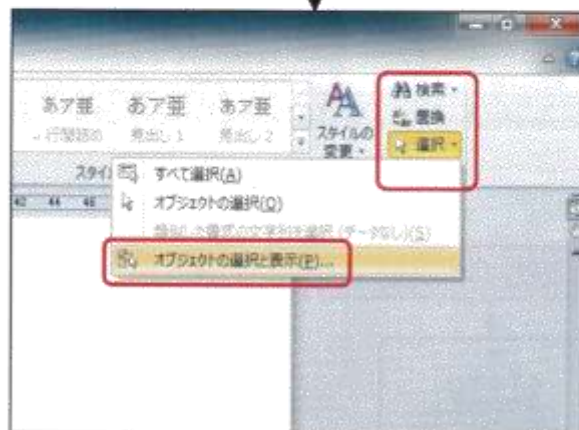
参考

画面解像度の違いにより [オブジェクトの選択と表示] を格納したメニューの表示方法が異なることがあります。

本テキストの画面解像度
1024×768 ピクセル

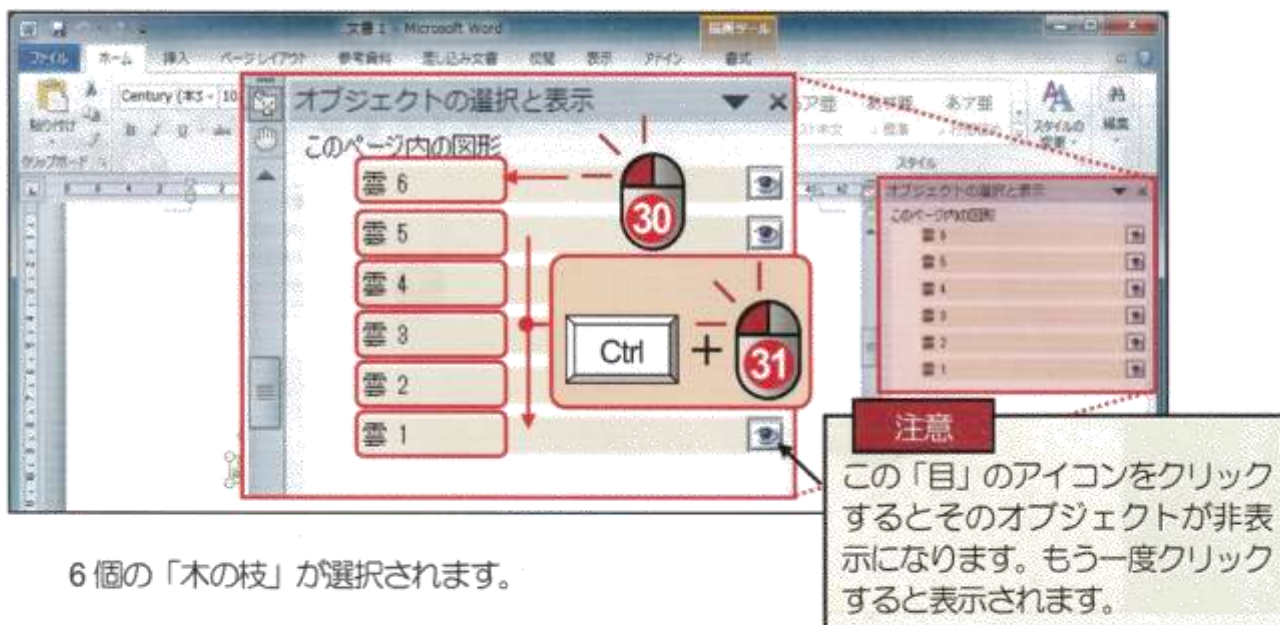


参考
1280×800 ピクセル



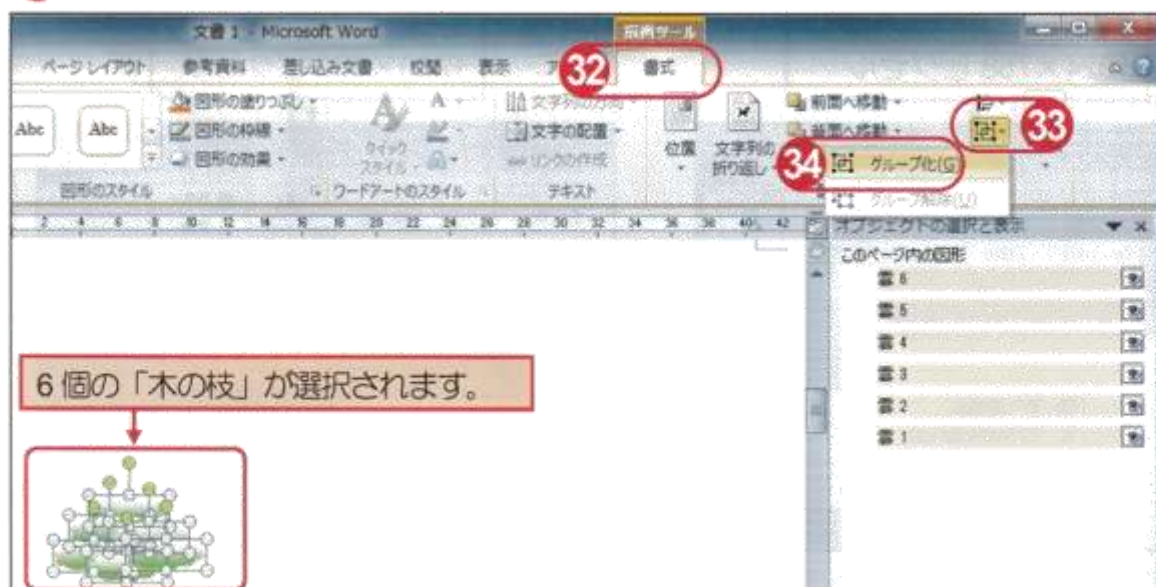
[オブジェクトの選択と表示] 作業ウィンドウが表示されます。

- 30** [このページ内の図形] の一番上のオブジェクト（ここでは「雲6」）をクリックします。オブジェクトの名称は、使用している図形の名称に Word によって自動的に採番された番号が付いています。番号は Word による自動採番のため、このテキストの番号と異なっていてもかまいません。
- 31** 一番上のオブジェクトをクリックした後、[Ctrl] キーを押したまま、残りの5つのオブジェクトを順にクリックします。



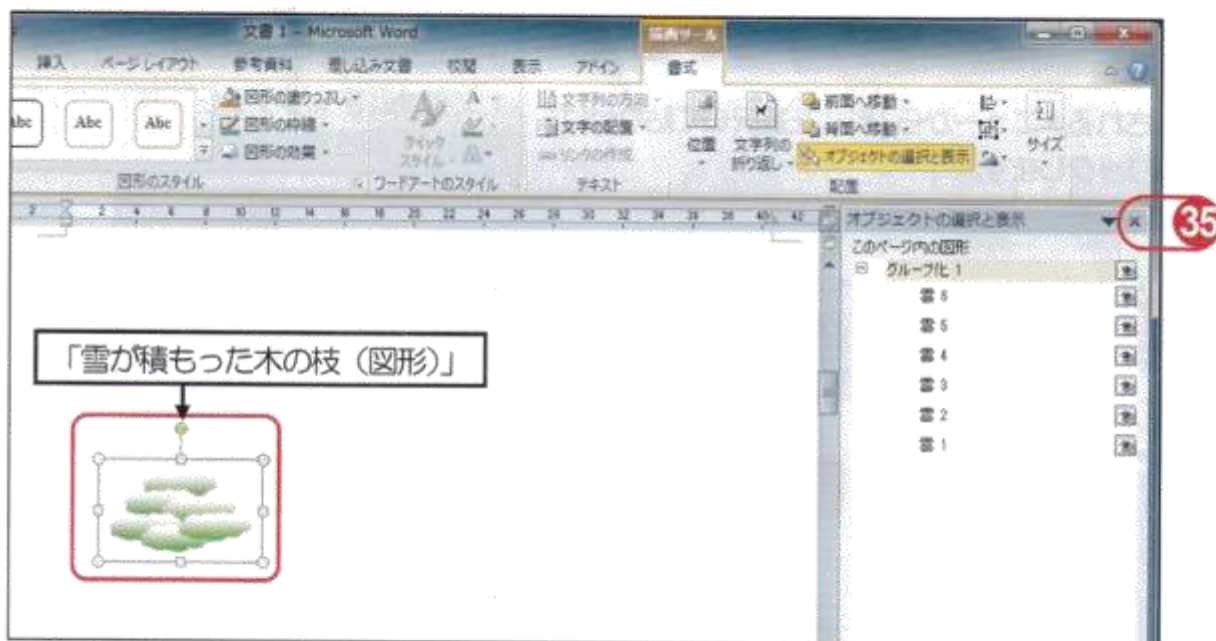
6個の「木の枝」が選択されます。

- 32** 6個の「木の枝」が選択されている状態で [描画ツール] の [書式] タブをクリックします。
- 33** [配置] グループにある [グループ化] をクリックします。
- 34** 表示されるメニューから [グループ化] をクリックします。



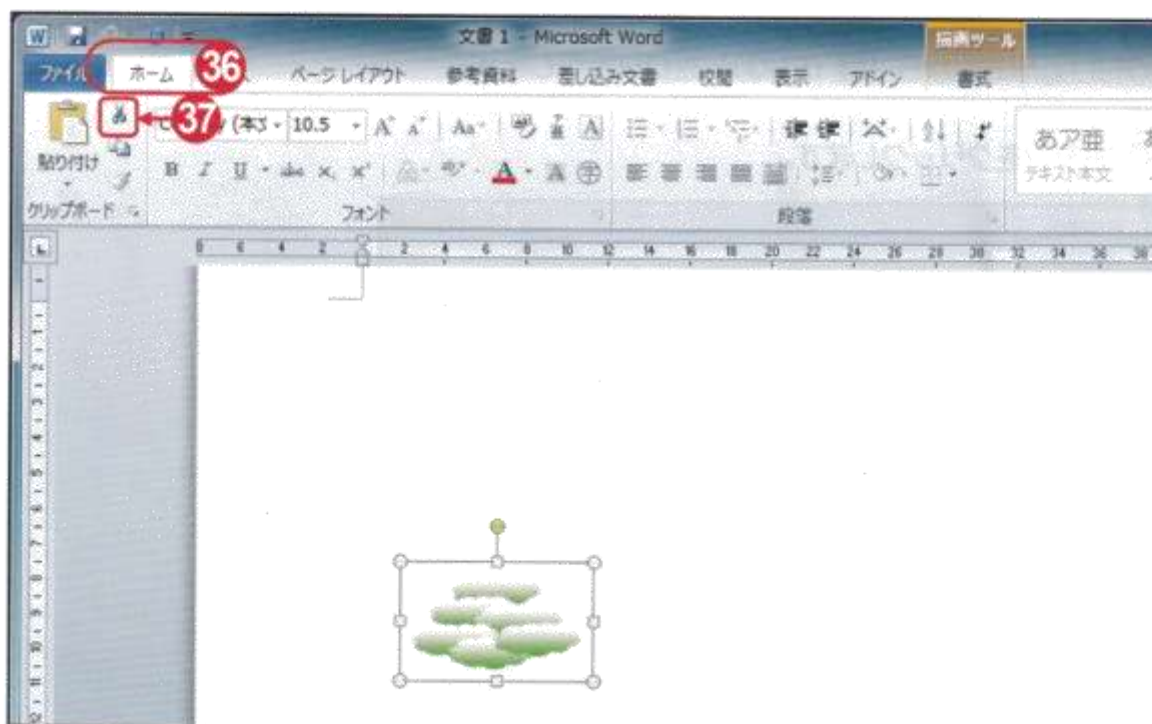
6個の「木の枝」がグループ化されます。これを「雪が積もった木の枝 (図形)」とします。

- 35** [オブジェクトの選択と表示] 作業ウィンドウの右上にある [閉じる (X)] ボタンをクリックします。



[オブジェクトの選択と表示] 作業ウィンドウが閉じます。

- 36** 「雪が積もった木の枝 (図形)」が選択されて状態で [ホーム] タブをクリックします。
- 37** [クリップボード] グループにある [切り取り] アイコンをクリックします。

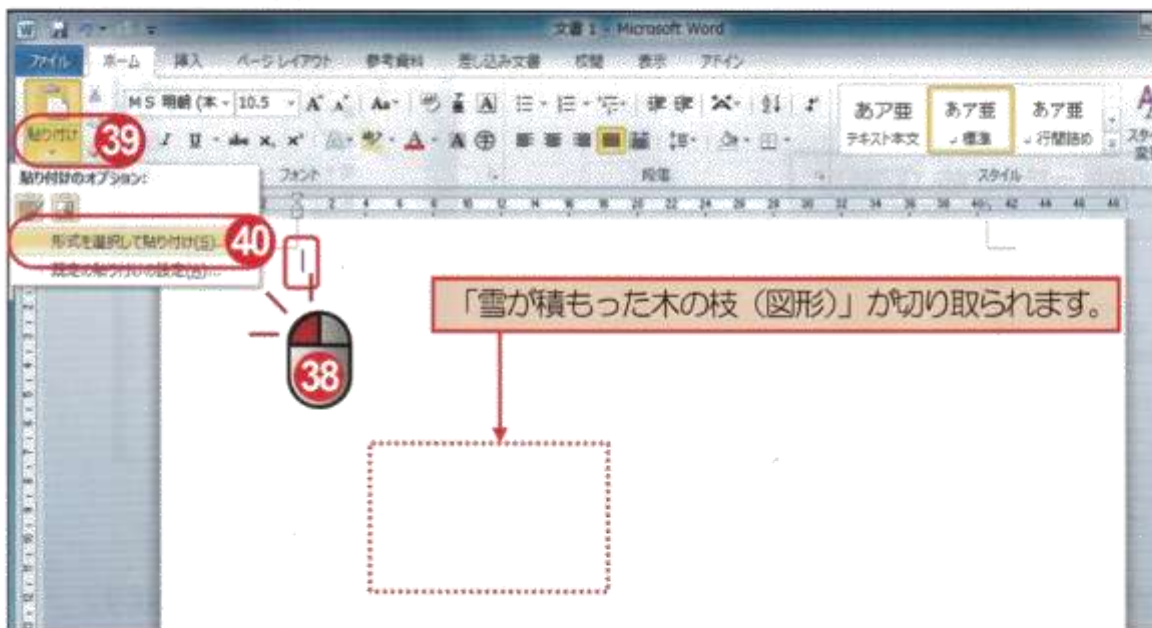


「雪が積もった木の枝 (図形)」が切り取られます。

操作のポイント

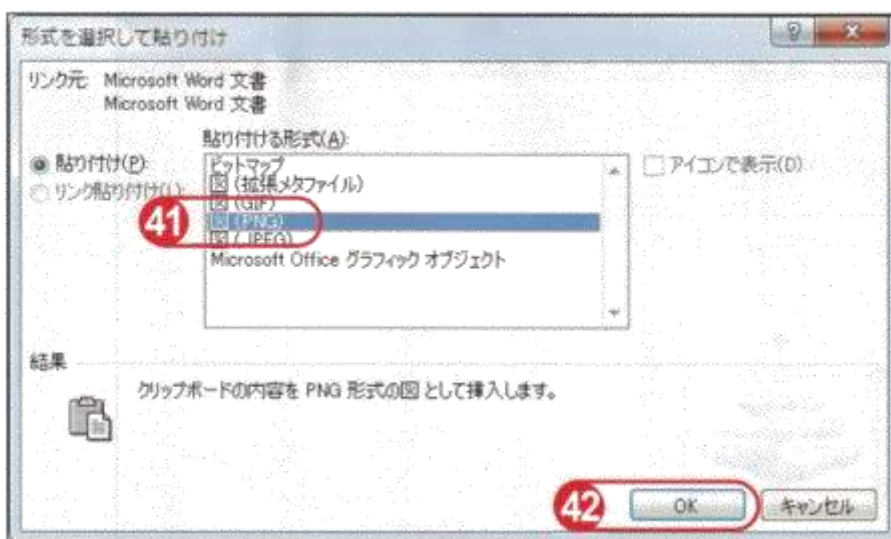
- 38 1行目1文字付近をクリックします。
- 39 [クリップボード] グループにある [貼り付け] の文字の部分をクリックします。
- 40 表示されるメニューから [形式を選択して貼り付け] をクリックします。

Word 2010 で 40 の [形式を選択して貼り付け] を実行すると、PNG 形式の図は編集ウィンドウの下部に貼り付きます。できるだけ編集ウィンドウの中央部付近に貼り付くよう、1行目1文字付近をクリックしてカーソルを移動しておきましょう。



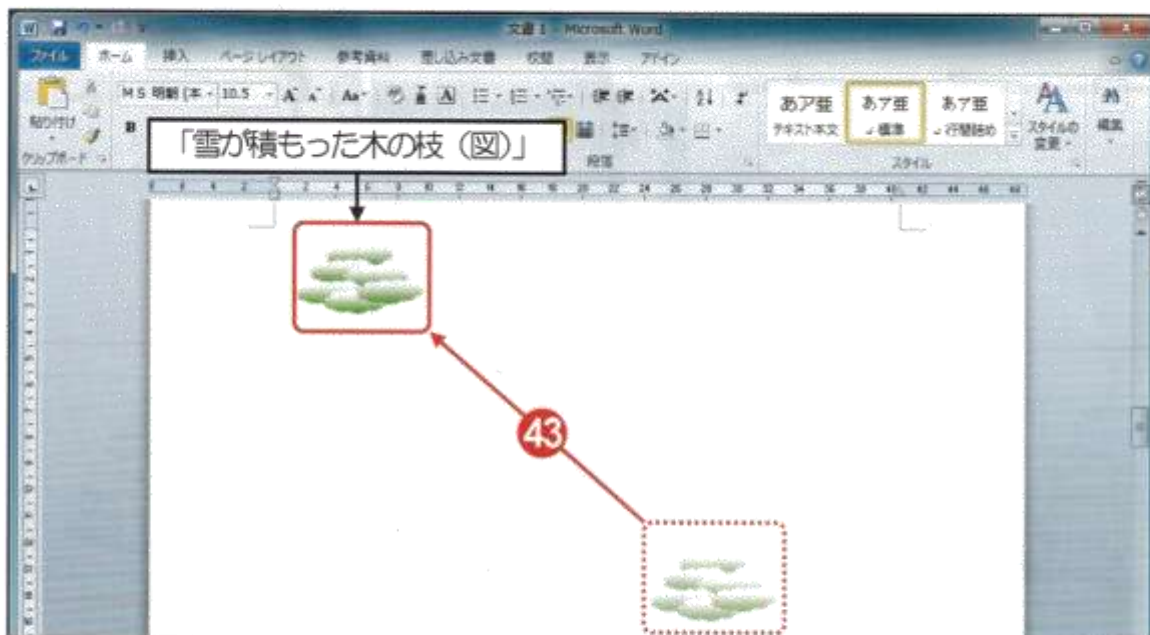
[形式を選択して貼り付け] ダイアログボックスが表示されます。

- 41 [貼り付ける形式] から [図 (PNG)] をクリックします。
- 42 [OK] ボタンをクリックします。



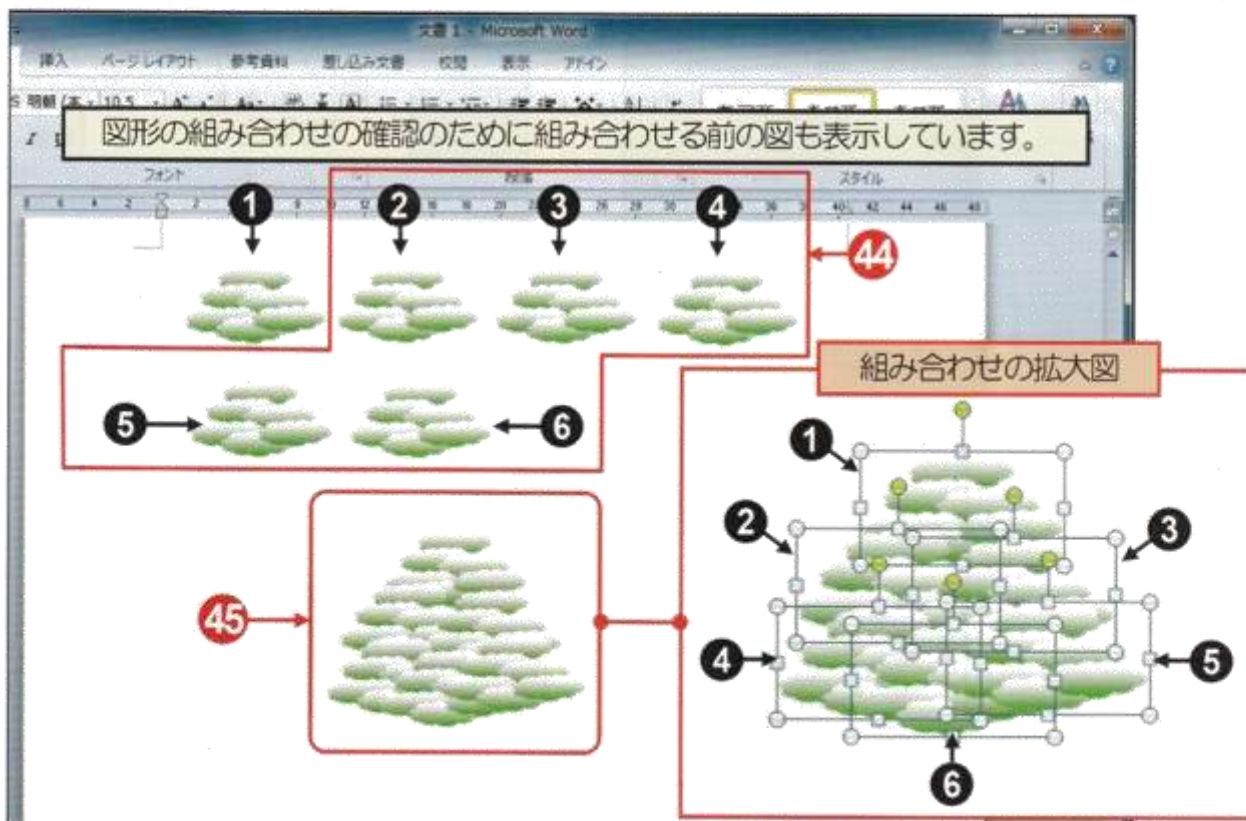
「雪が積もった木の枝 (図形)」がPNG形式の図に変換され、編集ウィンドウに貼り付きます。
これを「雪が積もった木の枝 (図)」とします。

- 43 「雪が積もった木の枝 (図)」を編集ウィンドウの上部左端に移動します。

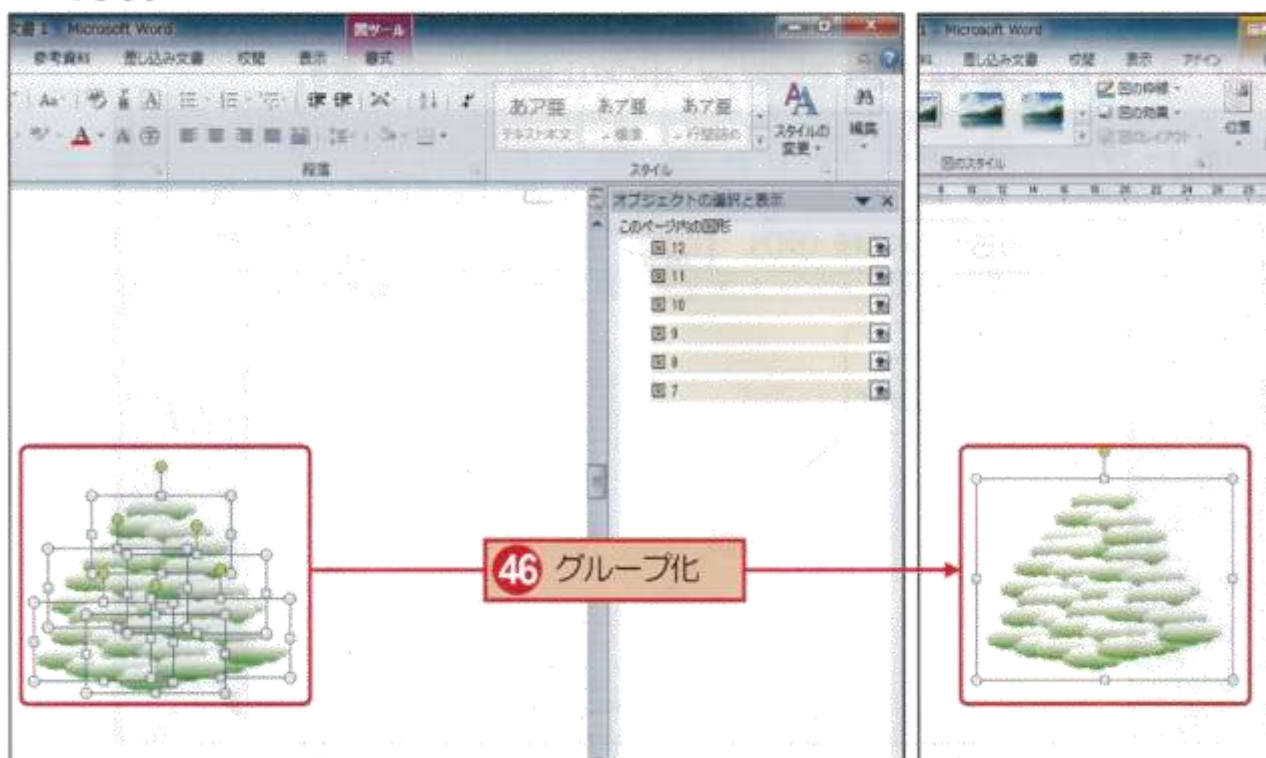


- 44 「雪が積もった木の枝 (図)」 ① を ② から ⑥ の順に複製します。

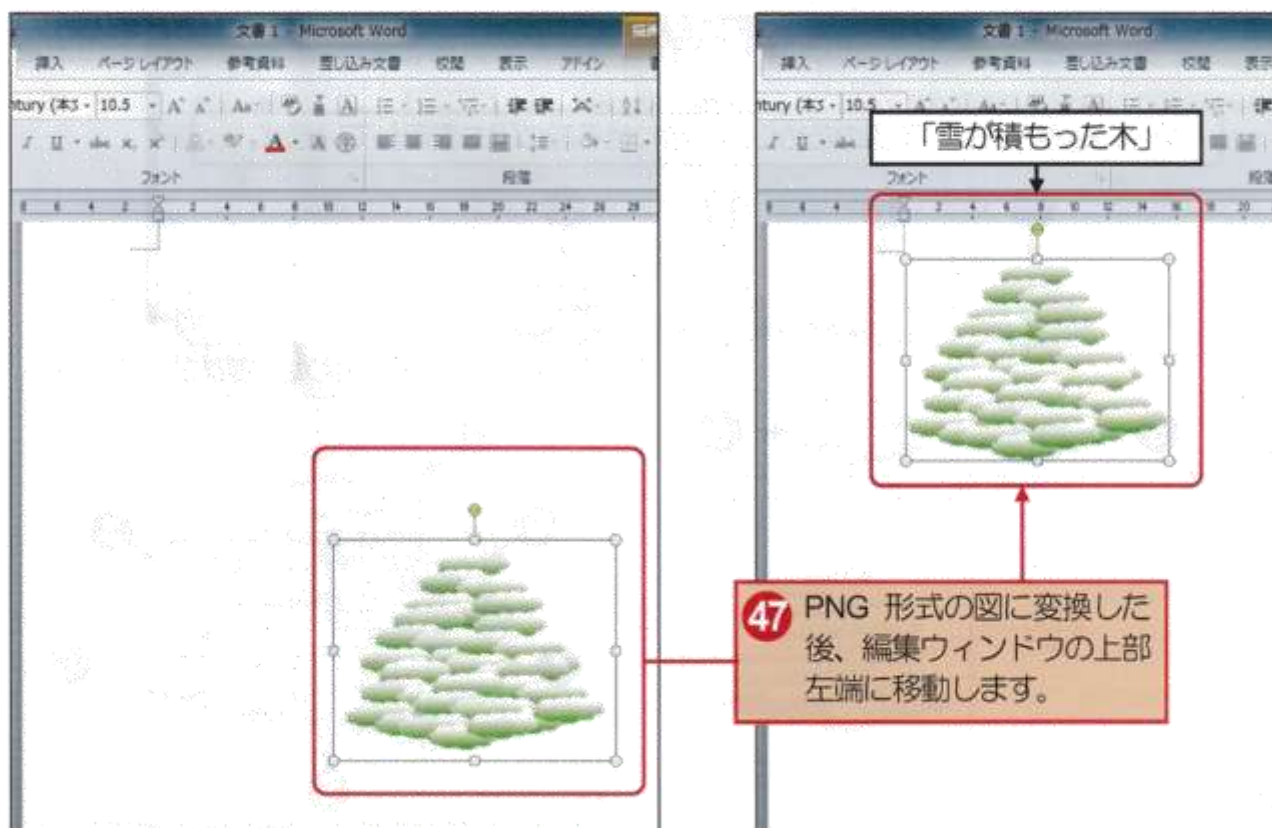
- 45 ① から ⑥ までの「雪が積もった木の枝 (図)」を次の図のように組み合わせます。
(拡大図に表示している図形の選択線を参考に、おおよそ同じような形状に組み合わせます。)



- 46 26 から 35 までと同様の操作で組み合わせた「雪が積もった木の枝 (図)」をグループ化します。



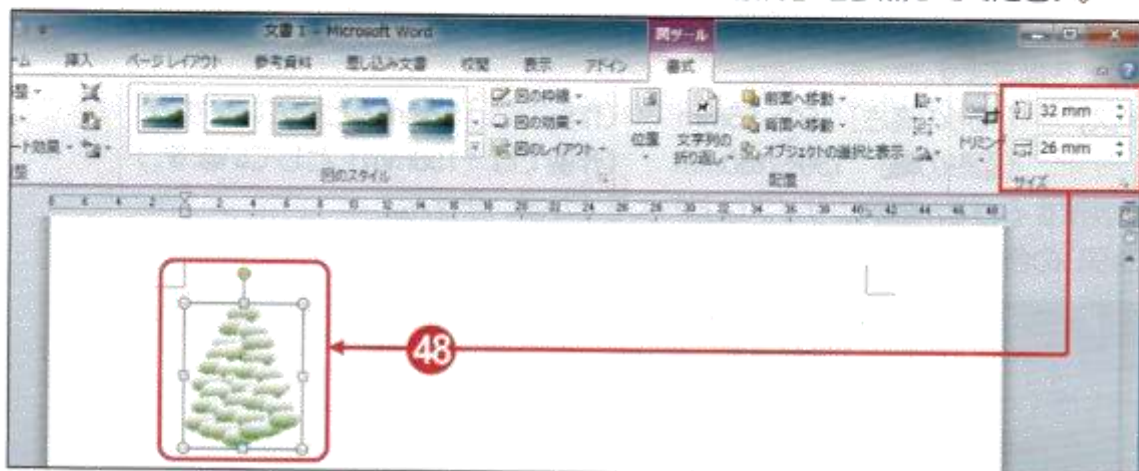
- 47 グループ化した「雪が積もった木の枝 (図)」を 36 から 43 までと同様の操作で PNG 形式の図に変換した後、編集ウィンドウの上部左端に移動します。これを「雪が積もった木」とします。



48 「雪が積もった木」のサイズを次のように設定します。

[サイズ] - [図形の高さ] : 32mm [図形の幅] : 26mm

サイズを設定するときには図の縦横比の固定を解除してください。図の縦横比の固定を解除する方法は20ページの「(15) 図の縦横比の固定の解除」を参照してください。



49 「雪が積もった木」を5個複製します。

50 複製した「雪が積もった木」のうち4個 (C、D、E、F) のサイズを次のように設定します。

C、D [サイズ] - [図形の高さ] : 26mm [図形の幅] : 19mm

E、F [サイズ] - [図形の高さ] : 22mm [図形の幅] : 16mm



ここまでの操作で「雪が積もった木」を描くことができました。

ここまでの操作を「雪の朝.docx」というファイル名を付けて保存しておきましょう。

操作終了

Step 2 降り積もった雪

操作開始

- 1 「雪が積もった木」の下部に次の図を参考に、[フリーハンド] を使用して次の設定の「地面（図形）」を描きます。

[サイズ] - [図形の高さ] : 50~55mm (作例では「52mm」としています。)

[図形の幅] : 150~160mm (作例では「156mm」としています。)

地面を表現するので、形状やサイズはおおよそでかまいません。

塗りつぶしの色や枠線の太さと色は、既定のままでかまいません。



- 2 「地面（図形）」に次の設定をします。(Word 2013 の場合は補足資料を参照してください。)

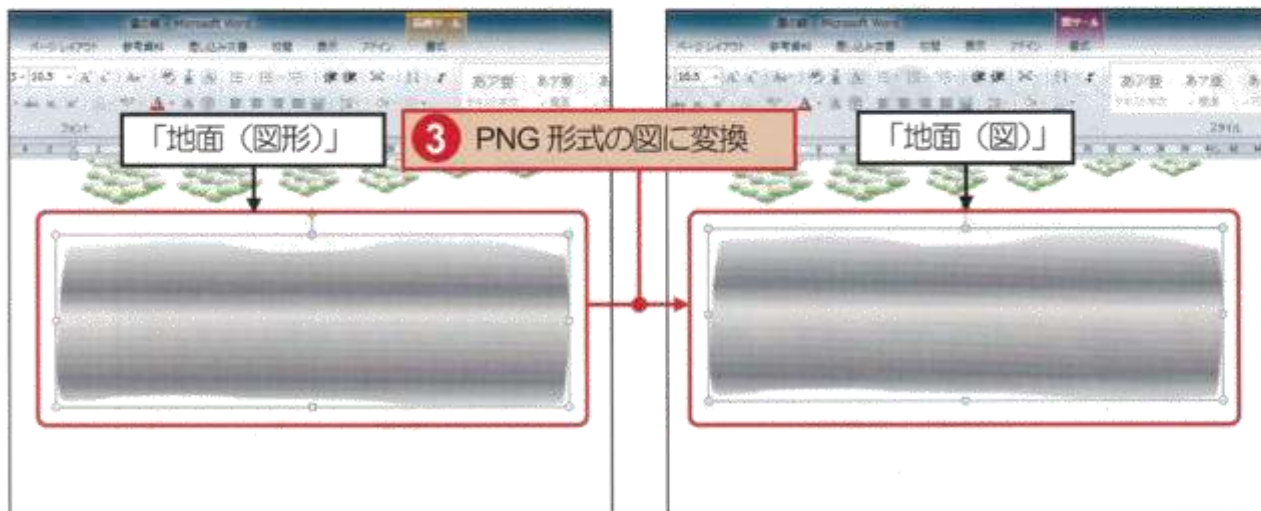
[図形の塗りつぶし] - [塗りつぶしの色] : グラデーション [シルバー]

(グラデーション [シルバー] の設定方法については Step 1 の 2 から 11 までの操作を参照してください。)

[図形の枠線] - 線なし

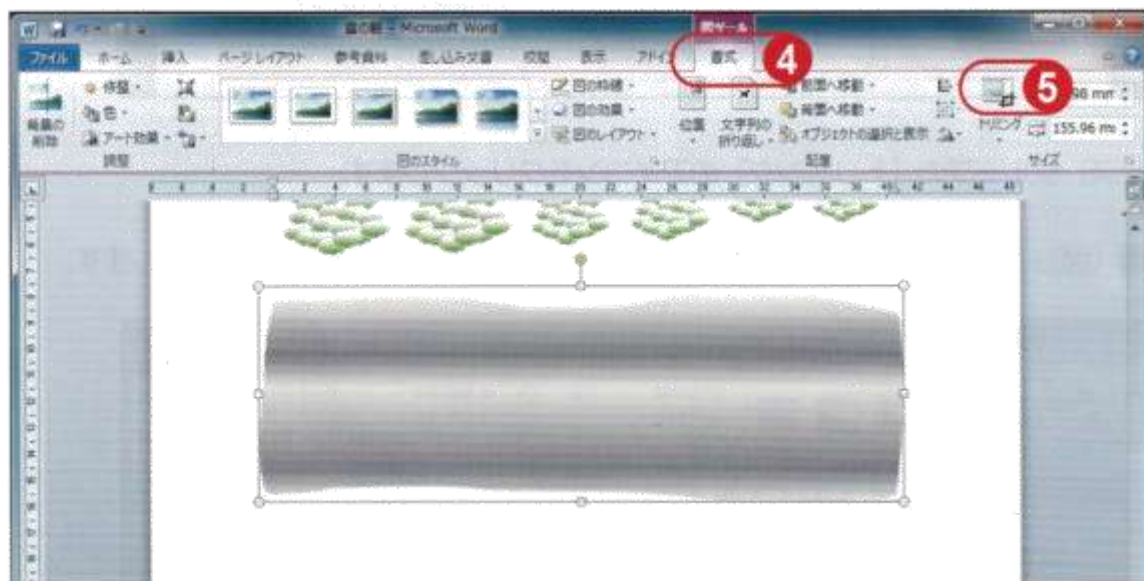


- ③ 「地面 (図形)」を Step 1 の ③ から ④ までと同様の操作で PNG 形式の図に変換します。
これを「地面 (図)」とします。

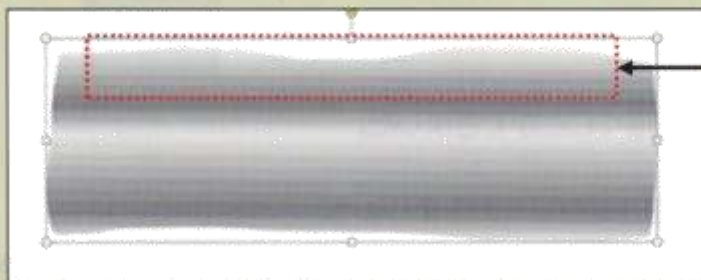


- ④ 「地面 (図)」が選択されている状態で [図ツール] の [書式] タブをクリックします。

- ⑤ [サイズ] グループにある [トリミング] のアイコンをクリックします。



操作のポイント

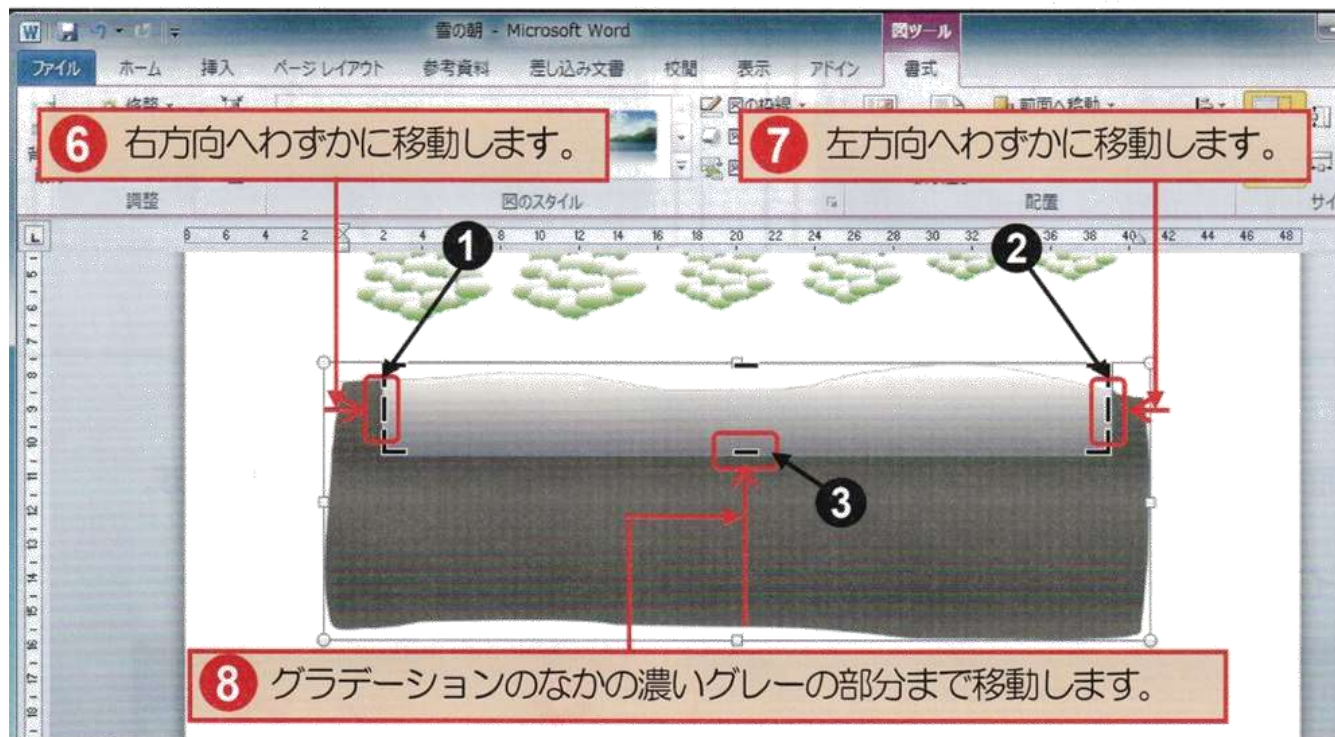


次の操作では赤い点線で囲まれた部分だけが残るようにトリミングします。

6 トリミングハンドル ① を右方向へわずかに移動します。

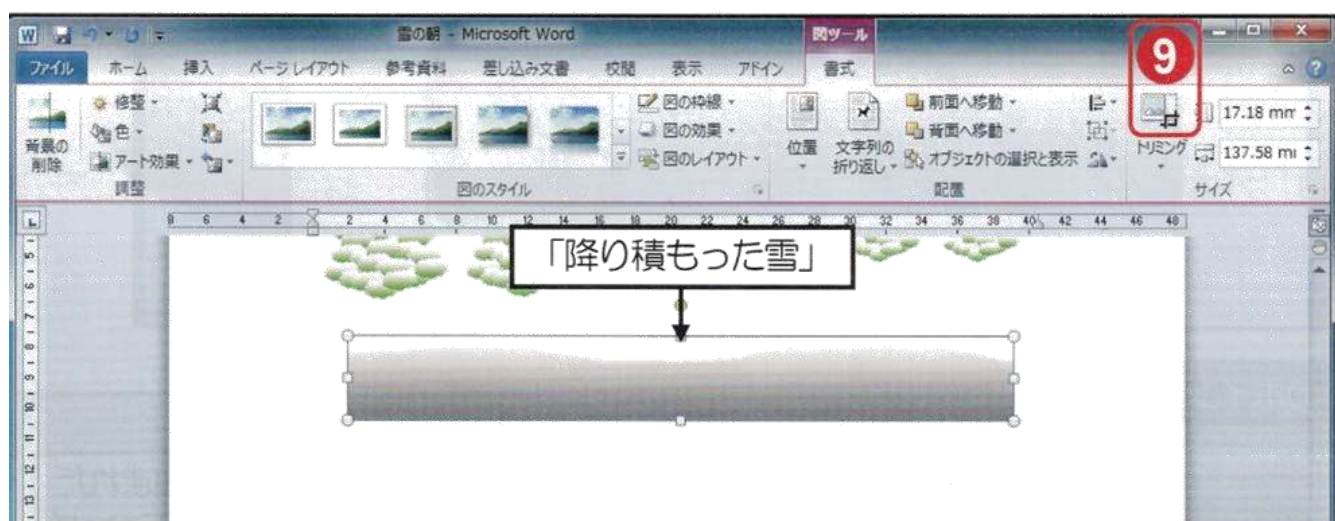
7 トリミングハンドル ② を左方向へわずかに移動します。

8 トリミングハンドル ③ をグラデーションのなかの濃いグレーの部分まで移動します。



9 [サイズ] グループの [トリミング] のアイコンをクリックします。

「地面 (図)」の左右の辺と底辺が直線になります。これを「降り積もった雪」とします。



ここまでの操作で「降り積もった雪」を描くことができました。

ここまでの操作を「雪の朝.docx」に上書き保存しておきましょう。

操作終了

Step 3 イラストの作成

操作開始



- 1 2 ページ目の描画キャンバスをクリックします。
- 2 描画キャンバスが選択されている状態で Step 1 の 2 から 11 までと同様の操作で次の設定のグラデーションを設定して、「冬の朝」を表現します。(Word 2013 の場合は補足資料を参照してください。)

1 [標準スタイル]：夜明け

夜明け

図形の書式設定

塗りつぶし

線の色

線のスタイル

影

反射

光彩とぼかし

3-D 書式

3-D 回転

図の修整

図の色

アート効果

トリミング

テキスト ボックス

代替テキスト

塗りつぶし

塗りつぶしなし(N)

塗りつぶし(単色(S))

塗りつぶし(グラデーション)(G)

塗りつぶし(図またはテキスト)(T)

塗りつぶし(パターン)(A)

標準スタイル(B): [夜明け]

種類(O): 線形

方向(D): [下方向]

角度(E): 90°

グラデーションの分岐点

色(C): [色選択]

位置(O): OK

明るさ(B): OK

透過性(T): OK

図形に合わせて回転する(R)

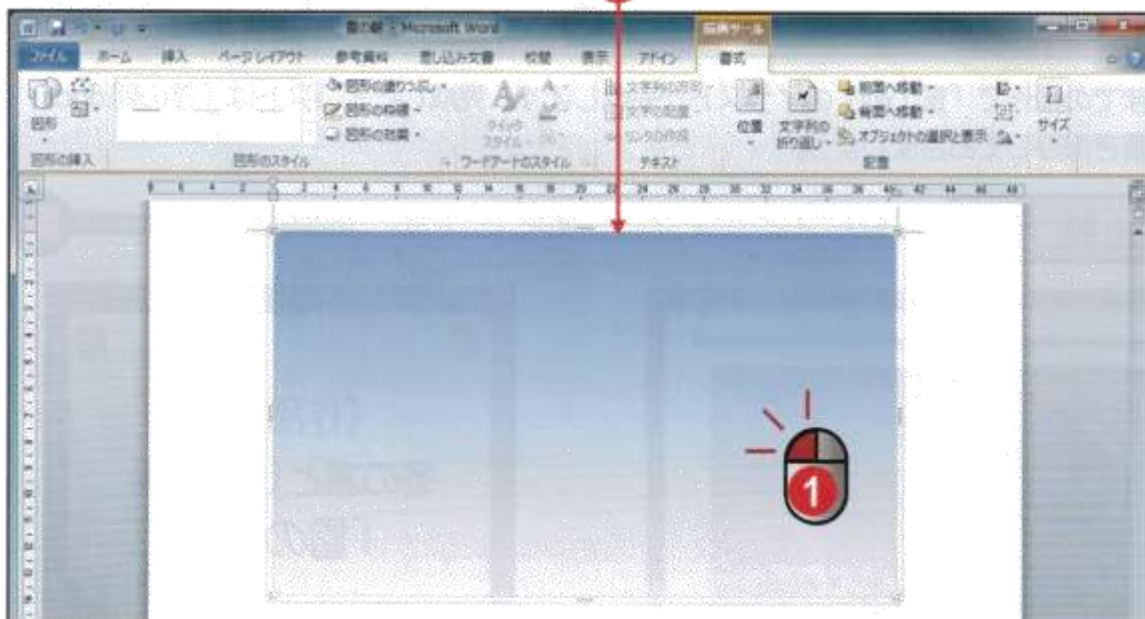
閉じる

2 [種類]：線形

3 [方向]：下方向

4 [角度]：90°

2



これより描画キャンバスにパーツを貼り付けてイラストを作成する操作になります。

次の表の番号順に1ページ目のパーツをコピーして、2ページ目の描画キャンバスをクリックして描画キャンバスの枠が表示されたら、組み合わせ図と同じ位置に貼り付けます。
なお、次の表のパーツのサイズは参考値です。パーツを貼り付けるときに、組み合わせ図のように配置できるよう必要に応じて各パーツのサイズを微調整してください。

番号	パーツ名	詳細
①	「雪が積もった木」	6本の木のサイズは115ページを参照してください。
②	「降り積もった雪」	図の高さ：18mm 図の幅：150mm
③	「雪」 描画する「雪」の数は10から15個程度です。	<ul style="list-style-type: none"> 使用する図形 [円/楕円] [図形の高さ]：6mm [図形の幅]：6mm [塗りつぶしの色]：白、背景1 [図形の枠線]：線なし 「ぼかし」の設定 [描画ツール]の「書式」タブにある「図形のスタイル」グループの「図形の効果」から「ぼかし」：「5ポイント」を設定します。



ここまでの操作で「雪の朝」のイラストが完成します。完成したイラストは「雪の朝.docx」に上書き保存しておきましょう。

操作終了

